

2025 年度 全日本インカレ 出場者による意気込み

女子 100m、女子 200m

学部 2 年 白鳥 名花

短距離 2 年の白鳥名花と申します。OB・OG の皆様には日頃から様々な形で多大なるご支援を頂きまして、本当に感謝しております。

昨年も日本インカレに出場させて頂きましたが、今年の日本インカレでは 100m と 200m の 2 種目で出場権を得ることができました。それも、OB・OG の皆様にご支援いただいているおかげでいくつかの大きな大会に参加することができ、貴重な経験をさせてもらっていることで力がついたからだと考えております。本当にありがとうございました。100m は大会最初の種目ということもあり、東北大を勢いづけられるような走りをしたいと思います。200m は昨年予選敗退に終わってしまったため、今年こそは上位ラウンドで勝負ができるように全力を尽くします。日本インカレという大舞台に恥じないような走りができるように頑張ります。そして日頃から支えてもらっている方々に少しでも恩返しがしたいです。

東北大の名を高められるよう精一杯挑んできたいと思います。どうぞ応援よろしくお願い致します。

男子 4 × 400mR

学部 1 年 平野 蒼士

私の日本インカレの目標はラウンドを勝ち進むことです。私が入部する時に今年度の日本インカレへの出場権を東北大学が持っていることを知り、2ヶ月弱という短い期間ではありますが、メンバーに入るため練習をしてきました。その中で男子個人 400m の正選手として東北インカレに出場させていただき、1 年目から決勝を走ることができました。私は決勝に残ることができたことは運が大きかったと感じている上、個人的に納得のいかない記録であり、お二方の先輩に比べかなり遅いものでしたからなんとかリレーでは挽回することを考えていましたが、目の前の他チームを抜くことができず、チーム目標を逃しました。昨年、一昨年とこのリレーを走ってきた先輩方の悔しがる姿を見て次こそは目の前の他チームに勝ち切る、チーム目標を達成すること、そしてラウンドを勝ち進むことを果たしたいです。

毎日満足の行く活動をさせていただけていること、そして 1 年目に大学生の全国大会を経験させていただけることはいつも応援、サポートしてくださっている OB・OG の皆様の力がとても大きいのだと入部以降強く実感しています。本当にありがとうございます。

OB・OG の皆様、陸上競技部の方々に良い報告ができるよう精進します。

学部 2 年 岸本 醒知

お疲れ様です。短距離 2 年岸本醒知です。男子マイルの日本インカレでの目標は 3 分 9 秒台での部記録更新+来年の全日本インカレの A 標準の突破です。日本インカレでは同じ組に東洋大学や法政大学などの関東の名だたる強豪大学がありますが 2 走として前に離さ

れないよう全力で喰らいついていきたいと思います。優勝を目指して挑んだ先日の東北インカレでは3分12秒台で3位という悔しい結果に終わってしまいましたがその悔しさをバネにして目標を達成し仙台に帰ってきたいと思います。

最後になりますが、OB・OGの皆様の多大なご支援と応援に感謝を申し上げます。

学部2年 奈良 隆ノ介

今回、全日本インカレに4×400mRのメンバーとして帯同させていただくことになりました。この大舞台にチームの一員として関われることに感謝し、全力で臨みたいと思います。今回私はメンバー入りはしているものの実力は6番手、よほどの事態に陥らない限りトラック上での出番はないです。しかし、トラックの外ではバトンを繋ぐ4人の選手を全力でサポートしチームが大舞台で最大限の実力を発揮できるように尽力したいと思います。また、もし出場することになった場合はスーパーサブとしてラスト100爆垂れする勢いで最初から飛ばして強豪相手に喰らいついていきたいと思います。

OB・OGの皆さまのご支援あってこそ、こうして全国の舞台に挑戦できる環境があります。本当にありがとうございます。自分にできる最大限の形でチームに貢献し、来年は個人でも出場できるように努力し続けていきたいと思います。

学部3年 室田 竜磨

OB・OGのみなさま日頃より東北大陸上競技部にご支援していただき、誠にありがとうございます。

男子4×400mRに出場する室田竜磨です。私の専門種目は100mと200mですが昨年からマイルチームに入りました。昨年もマイルで日本インカレのメンバーに入りましたが、昨年は1年間怪我に悩まされて出場することができませんでした。この全国の舞台で戦っている先輩や全国のトップレベルの選手を見て強く刺激を受け、いつか強い選手としてあの場に立ちたいと思いました。東北インカレでは、4年ぶりにマイルを走りましたが、不甲斐ない走りをしてしまい、悔しい思いをしました。先日のマイルの出場メンバーを決める350TTでは、最後まで粘り強く走り、4走として走るようになりました。目標はチームで部記録を樹立し、4位以内に入ることです。不可能ではないと思います。全力で走り切ります。また、私の専門種目のことにはなりますが、今年は、100mは10.65、200mは21.50を目標にし、七大戦でも100mと200mで表彰台を目指して頑張ります。

OB・OGのみなさまには、日頃の感謝を必ず結果で伝えますので、応援の程よろしくお願いします。

学部4年 菅野 涼太

日頃より多大なるご支援を頂きありがとうございます。マイルチームは昨年の日本インカレでの惨敗を糧に、これまで厳しい練習を乗り越えてきました。その結果、卒業された先輩方に代わる新戦力も現れ、昨年のチームに勝るとも劣らないチームとなりました。私は補欠となり昨年のリベンジを自分で果たすことはできませんが、メンバー入りした精鋭4人がいい走りをしてくれると信じています。

最後になりますがマイルチームがここまで強くなれたのは先輩方のお力添えやご支援があってこそです。重ね重ね御礼申し上げます。男子マイルの予選は6/7(土)16:30より競技開始です。会場やライブ配信でご声援を頂けると幸いです。

修士2年 斉藤 宥哉

OB・OGのみなさまにおかれましては、日頃より、度重なるご支援、それからご声援を賜り、心より感謝申し上げます。

マイルメンバー一同、昨年、全国の舞台には立ったものの、全く勝負させてもらえなかった悔しさを弾みに、妥協することなく厳しい練習をかさね、また頭を使って、走技術の研鑽に努めました。そして今年のメンバーは、いままでとは個人のレベルが段違いに強いです。上位4人のラップタイムベスト平均は47.09。今年は部記録のさらなる更新のみならず、日本選手権リレー出場権獲得、3分9秒40を目標に据えています。最年長としてマイルのリーダーを務めてきた私も、過去最速の走りができるよう、準備をすすめてまいります。応援よろしくお願いいたします！

男子800m、男子1500m

学部3年 渡邊 優典

平素よりお世話になっております。理学部数学科3年の渡邊です。今回、私は男子1500mと男子800mでC標準を突破して全日本インカレに出場します。

1500mにおきましては、6/4現在のSBは3'56"44と日本インカレB標準の3'49"00とは7秒ほどギャップがあります。しかし、昨年のPB並びに部記録を更新したレースも全日本インカレの予選であるため、このギャップを埋めることは十分可能だと感じています。それどころか、昨年の今頃よりもSBは約1秒速いため、さらなる記録更新が期待できます。

800mにおきましては、C標準による出場ではありますが、先日の日本学生個人選手権で出したA標準に相当する資格記録で全日本インカレに挑みます。現時点でのランキングも55人中24位と持ち記録を順当に出せば準決勝進出は硬い位置にいます。先日の日本学生個人選手権では準決勝に進出できたものの、その準決勝では自分の持てる全力をぶつけることができなかったため、そのリベンジに燃えております。また、今回800mには東京大、京都大、大阪大、九州大の選手も出場します。七大の各校中距離エースが一堂に会することもあり、これは七大戦前の一つの前哨戦といっても過言ではありません。

競技スケジュールは、

1500m

予選	6/5 17:00	3組目
決勝	6/6 15:40	

800m

予選	6/7 11:20	5組目
準決勝	6/7 17:55	
決勝	6/8 11:30	の予定で行われます。

最後になりますが、この度全日本インカレという舞台に立てるのも、苦楽を共にした仲間が存在、そしてOB・OGの皆様からの日頃の支援があつてのことです。この場を借りて感謝申し上げます。

6/4からの4日間、皆様の皆様の応援・声援を糧に走り抜けて参ります。

応援よろしくお願いいたします。

男子走幅跳

学部2年 早藤 海音

男子走幅跳に出場する早藤です。日本インカレの目標は攻めた跳躍をして一発大きな跳躍をし、少しでも高い順位を狙い、部記録を更新することです。部記録を更新できるとベスト8に入る可能性もあります。私の記録はB標準との差が大きく、エントリーリストの中ではビリから2番目という厳しい位置にいます。しかし、走幅跳という競技は本番での番狂わせが起きることが多々あります。そこが見どころでもあります。3本とも攻めた跳躍をし、番狂わせを起こしてきます。高校でのインターハイでは思うような記録を出すことができず悔しい結果に終わってしまいました。大学では必ず日本インカレに出場し、入賞するという目標を持って練習してきました。1年生のうちは高校のベストから程遠い記録しか出すことができませんでした。冬季を積んでやっと高校の自分と肩を並べることができ、東北インカレで優勝することもできました。2年生で日本インカレという大舞台に立つことができるということはこれからの競技において大きな経験になると思います。

日々一緒に練習し、アドバイスをくれる部員の人や支援してくださっている方々のおかげで日本インカレという舞台に立つことができます。ありがとうございます。ビックジャンプをかましてきます。

男子棒高跳

学部4 島村 惟葵

こんにちは。棒高跳で全日本インカレに出場させていただく跳躍4年の島村惟葵です。まずは、常日頃より多大なるご支援いただき誠にありがとうございます。折に触れて感謝を述べさせていただいておりますが、棒高跳は一本10万から20万円超のポールを試合中に複数本使用します。それぞれ長さや硬さが異なり、そのときの調子や挑戦する高さによっても使い分けますし、選手によって使うポールは異なります。現状はこのポールを20本程度、部で購入し使用させていただいております。全日本インカレでは5m30の日本選手権標準、東北、北日本学生記録を跳び入賞することを目標に、全力を尽くして参ります。顔触れだけ見ると、IH上位入賞者やU20アジア入賞、日本インカレ複数回入賞者などが並びますが、遜色ない実力をつけてきたと自負しておりますので、応援のほど、よろしく願いいたします。

以下、先輩方にどのような競技なのか知っていただくために、棒高跳について話をさせていただきます。実際に見てそのダイナミックスを肌で感じていただきたいところではありますが、簡単に述べますと棒高跳は助走で生まれた運動エネルギーをポールの弾性エネルギーに変え、これを位置エネルギーへと変換する競技です。運動エネルギーは $\frac{1}{2}mv^2$ 、位置エネルギーは mgh ということで、より高く飛ぶためには、より速い助走をするか、もしくはエネルギーの変換効率を高める(理想はその両方をする)ことが主な因子となります。変換効率を高めるためにはポールにロスなく力を加えること、体が空中で反転するまでポールに力を加え続け、反転し体が進展するタイミングでポールから力を瞬間的に受け取り、空中へと跳ね飛ばされる、それぞれの過程を理論的、そして体感的に分析する必要があります。実際にはより細かく、腕周り脚周りのモーメントなども絡み、変数が多すぎて解析なんてできるものではありませんが、これらの動作を自分の体だけでなくポールがある状態でいかに再現よく行えるかが肝になります。またこのポールに関しても硬さ、長さが異なるものから素材の違い、製造方法の違いなど、様々存在しています。数年前まで国内ではグラスファイバー製が一般的でしたが、最近はカーボン製のものも流通しており、曲がりから反発までの挙動が大きく異なります。話し始めればきりがないので、こころへんで終わりにさせていただきます。

もし興味がありましたら棒高跳のライブ配信をご覧くださいけると幸いです。
6/6 14 時競技開始です。

男子やり投

学部3年 増田 併介

お疲れ様です。投擲3年の増田併介です。全日本インカレでの目標は初めての全国大会で強い選手たちからより多くのことを学ぶことです。持ち記録を考えると決勝に残ることは厳しいので次の全国大会に向けてのファーストステップにしたいと考えています。私は大学に入学してから自己ベストを更新できておらず悔しい思いをしています。全国トップレベルの選手動きを観察することで今自分に足りないことが見えてくるのではないかと考えています。今年の全日本インカレで記録を出そうと焦ることなく、残された大学生活四年間を見据えて地道に取り組んでいきたいです。

最後になりますがOB・OGの皆様につきましては日頃からの支援に心より感謝を申し上げます。これからも応援のほどよろしくお願いします。

男子混成十種競技

修士2年 根本 大輝

まずはOB・OGの皆様、応援や日々の活動のご支援、本当にありがとうございます。皆様のおかげで、1シーズン競技にフルコミットできています。

今年で4度目の全日本インカレ、そしてもう学生ラストイヤーを迎えました。ようやくこの大舞台にも慣れてきたところですが、いよいよ学生陸上が終わろうとしていて少し寂しいです。今大会の目標は、入賞と日本選手権標準の突破。そして東北大学の存在感をガッツリ全国に示してくること。俺の素晴らしい逆三角形の背中を見て後輩たちには七大会で大いに活躍して欲しいものです。ちなみに今シーズンは東京での世界陸上の影響で主要大会が前倒しになった難しいシーズンでした。焦った僕はなんとか間に合わせまいと気負いすぎて春にハムを痛めました。ある意味世界陸上が人生で最も”自分ごと”になったシーズンになりました。それでも東北インカレではハムに不安を抱えながらも4連覇を達成しました。この勝負強さ、全国でも発揮して見せます。

改めてOB・OGの皆様、いつもご支援ありがとうございます。ライブ配信や速報サイトで「おっ、やるやん」と思わせます！ぜひご支援のほどよろしくお願いします！